

### ③浦川原区

#### ■人口（令和5年3月末現在）

総人口	2,943人	
15歳未満	279人	9.5%
65歳以上	1,218人	41.4%
75歳以上	642人	21.8%

#### ■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	浦川原小学校区	通年
			浦川原中学校区	冬期間
2	通院送迎	浦川原診療所、保倉の里診療所	浦川原区内	平日の午前
3	サロン送迎	夢あふれるまち浦川原	月影地区、末広地区、下保倉地区	週2回（月・水）
4	住民福祉会買い物ツアー	夢あふれるまち浦川原	浦川原区内外	月1回程度

#### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況（R4決算）								評価結果	
			経常費用（千円）	経常収益（千円）	経常欠損（千円）	収支率	国県補助（千円）	市補助（千円）	年間利用者数（人）	1便当たり利用者数（人）		平均乗車密度
1	直江津・浦川原線	幹線	39,203	11,349	27,854	28.9%	4,421	14,845	83,857 (81,753)	13.8 (13.5)	2.1 1.0 0.6	IV現状維持
2	高田・浦川原線	幹線	31,057	6,420	24,637	20.7%	0	24,636	34,090 (32,044)	8.2 (9.4)	1.2 2.7	IV現状維持
3	大平線	支線	6,464	774	5,690	12.0%	0	5,689	5,047 (9,243)	2.0 (3.8)	0.4 0.3	II運行形態の転換等
4	月影・下保倉・末広ルート	支線	5,349	894	4,455	16.7%	825	3,629	4,513 (4,955)	1.7 (1.6)	-	II運行形態の転換等
合計			82,073	19,437	62,636	23.7%	5,246	48,799	127,507 (127,995)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における（）内の数値は、平成30年度の利用者数  
 ※平均乗車密度は各系統の数値（各路線は経由地や起終点により、複数系統に分かれている）

#### ■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	直江津・浦川原線	18	14	18	7	-	-	-	-	・朝夕は通勤・通学利用が主、昼間は高齢者が通院に利用
2	高田・浦川原線	13	8	12	5	117	45	72	4	・朝夕は高田方面・浦川原方面・戸野目小への通学利用が主 ・時間帯により利用の少ない区間あり
3	大平線	10	0	4	0	25	0	25	0	・朝夕は通学利用が主
4	月影・下保倉・末広ルート	10-12	0	4	0	19	3	16	0	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は利用が少ない

※月影・下保倉・末広ルートは令和4年度実績から、その他は令和5年1月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

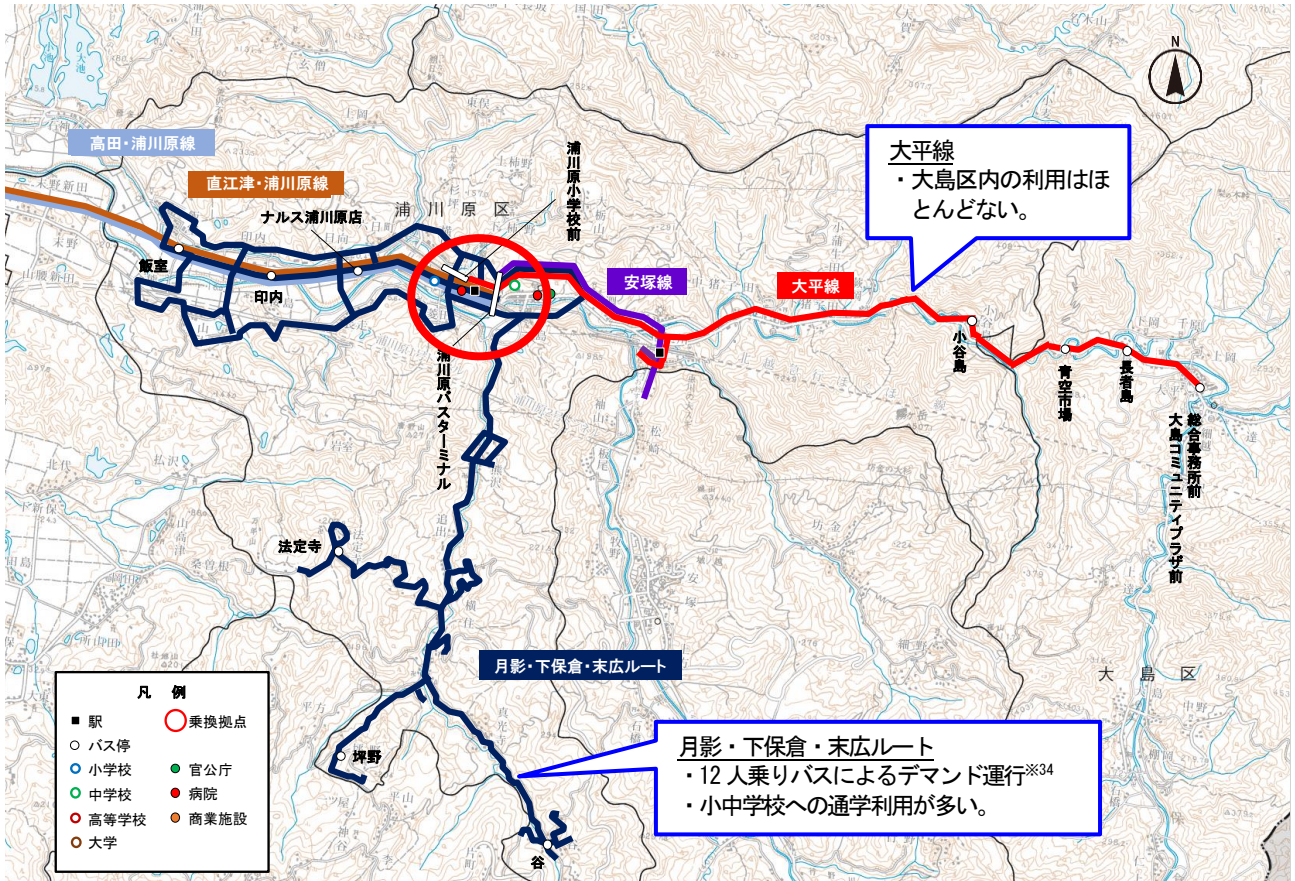
#### ■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	直江津・浦川原線	幹線	-	・現状維持
2	高田・浦川原線	幹線	-	・現状維持
3	大平線	支線	R6年4月	・利用が極めて少ない「小谷島」～「大島コミュニティプラザ」間を廃止する。
4	月影・下保倉・末広ルート	支線	R6年4月	・予約型コミュニティバスに転換し、利便性と効率性を向上する。 (月影地区の小中学生の通学時間帯は定時便を運行)

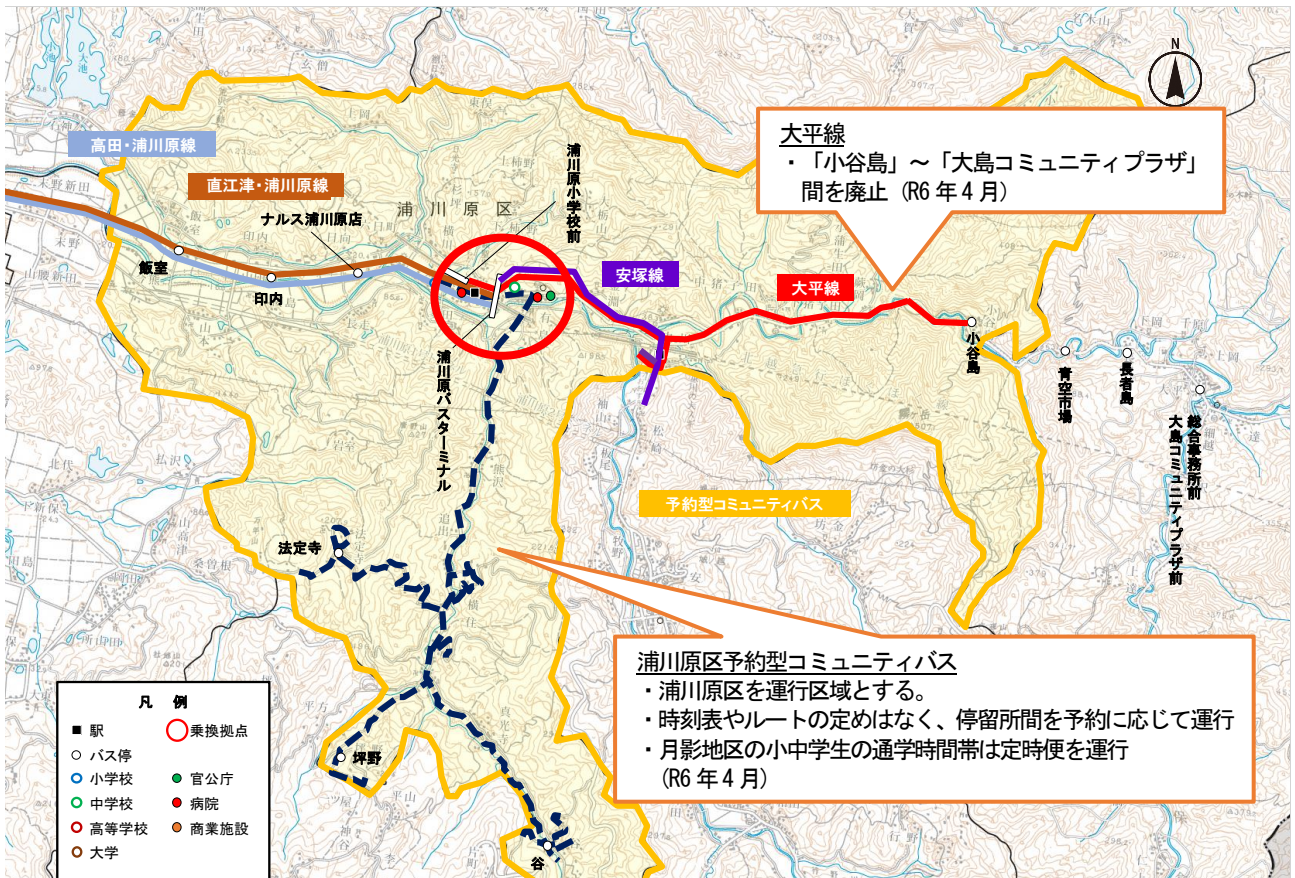
※幹線と支線の乗換拠点は浦川原バスターミナル



■再編前



■再編後





#### ④大島区

##### ■人口（令和5年3月末現在）

総人口	1,266人	
15歳未満	70人	5.5%
65歳以上	750人	59.2%
75歳以上	469人	37.0%

##### ■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス(一般混乗)	市	大島小学校区、大島中学校区	平日
2	通院送迎	大島診療所	決まりはなく、送りのみ実施	診療日 (月～木・土)
3	サロン送迎	大島まちづくり振興会	大島区内	金曜日
4	出張サロン送迎	大島まちづくり振興会	菖蒲地区、旭地区、4町内会(長者島・下岡・千原・上岡)	各会場月1回
5	介護予防教室送迎	大島まちづくり振興会	大島区内	水曜日
6	家族すこやか・ほっとカフェ送迎	大島まちづくり振興会	大島区内	年3回(金)

##### ■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・市負担(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	大平線	支線	6,464	774	5,690	12.0%	0	5,689	5,047 (9,243)	2.0 (3.8)	0.4 0.3	II 運行形態の転換等 (市営バス全体で1便当たり利用者数1.3人)
2	旭線 (市営バス)	支線	13,096	318	12,779	2.4%	0	12,779	2,778 (2,150)	1.0 (0.8)	-	
3	菖蒲線 (市営バス)	支線							4,545 (10,167)	1.7 (3.7)		
合計			19,560	1,092	18,469	5.6%	0	18,468	12,370 (21,560)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数  
 ※大平線の平均乗車密度は各系統の数値(起終点により、2系統に分かれている)

##### ■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	大平線	10	0	4	0	25	0	25	0	・朝夕は通学利用が主
2	旭線 (市営バス)	8-11	0-2	-	-	10	1	9	0	・朝夕は通学利用が主 ・朝の第1便や昼間の便は利用なし
3	菖蒲線 (市営バス)	8-11	0-2	-	-	17	5	12	0	・朝夕は通学利用が主 ・朝の第1便や昼間の便は利用なし ・利用がない区間あり

※大平線は令和5年1月調査から、旭線及び菖蒲線は令和4年度実績から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

##### ■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	大平線	支線	R6年4月	・利用が極めて少ない「小谷島」～「大島コミュニティプラザ」間を廃止する。
2	旭線 (市営バス)	支線	R6年4月	・予約型コミュニティバスに転換し、利便性と効率性を向上する。 (スクール混乗:小学生の通学時間帯は定時便を運行)
3	菖蒲線 (市営バス)	支線		

※幹線と支線の乗換拠点はほぼ大島駅



■再編前



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成



⑤牧区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	1,547人	
15歳未満	79人	5.1%
65歳以上	833人	53.8%
75歳以上	532人	34.4%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス（一般混乗）	市	牧小学校区 牧中学校区	平日
2	サロン送迎	牧振興会	牧区内	週3回（火・水・金）

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・市負担(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	宮口線	幹線	29,183	7,124	22,059	24.4%	0	22,058	22,594 (45,978)	4.3 (6.3)	1.6 1.1	Ⅲ運行の効率化
2	予約型コミュニティバス(市営バス)	支線	12,305	338	11,968	2.7%	2,451	9,517	9,334 (7,878)	- (1.7)	-	-
合計			41,488	7,462	34,027	18.0%	2,451	31,575	31,928 (53,856)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数  
 ※宮口線の平均乗車密度は各系統の数値(起終点により2系統に分かれている)  
 ※予約型コミュニティバス(市営バス)の経常費用等は、定時便運行分も含む()内の数値は、平成30年度の市営バス路線の利用者数

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	宮口線	17	9	16	7	67	60	7	14	・朝夕は通学利用が主 ・昼間は中央病院及び周辺の個人医院への通院利用等 ・土日祝の利用は少なく、牧区での乗降はほとんどない
2	予約型コミュニティバス	-	0	7	0	8	8	0	0	・朝夕の通学利用が主 ・昼間は通院・買物利用等 ・早朝や夜遅い時間帯の利用がない

※予約型コミュニティバスは令和5年1月末時点の実績から、宮口線は令和5年1月調査から  
 ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

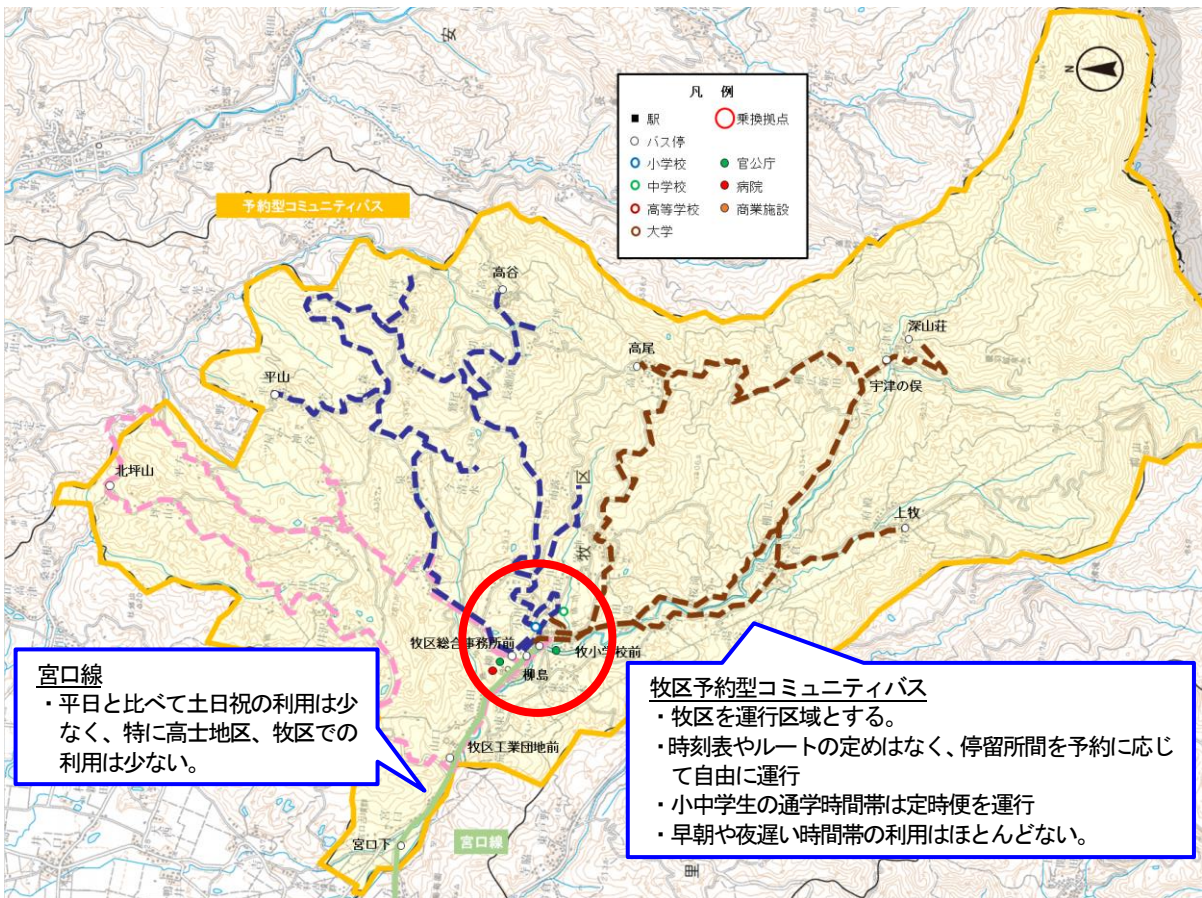
■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	宮口線	幹線	-	・現状維持 ※R3年4月に幹線と支線に分割等による運行の効率化を実施していることから、利用促進等を通じて利用者数の増を図る。
2	予約型コミュニティバス	支線	R7年4月	・利用実態に合わせた時間帯ごとの車両台数や運行時間の調整を行い、運行の効率化を図る。

※幹線と支線の乗換拠点は農協前

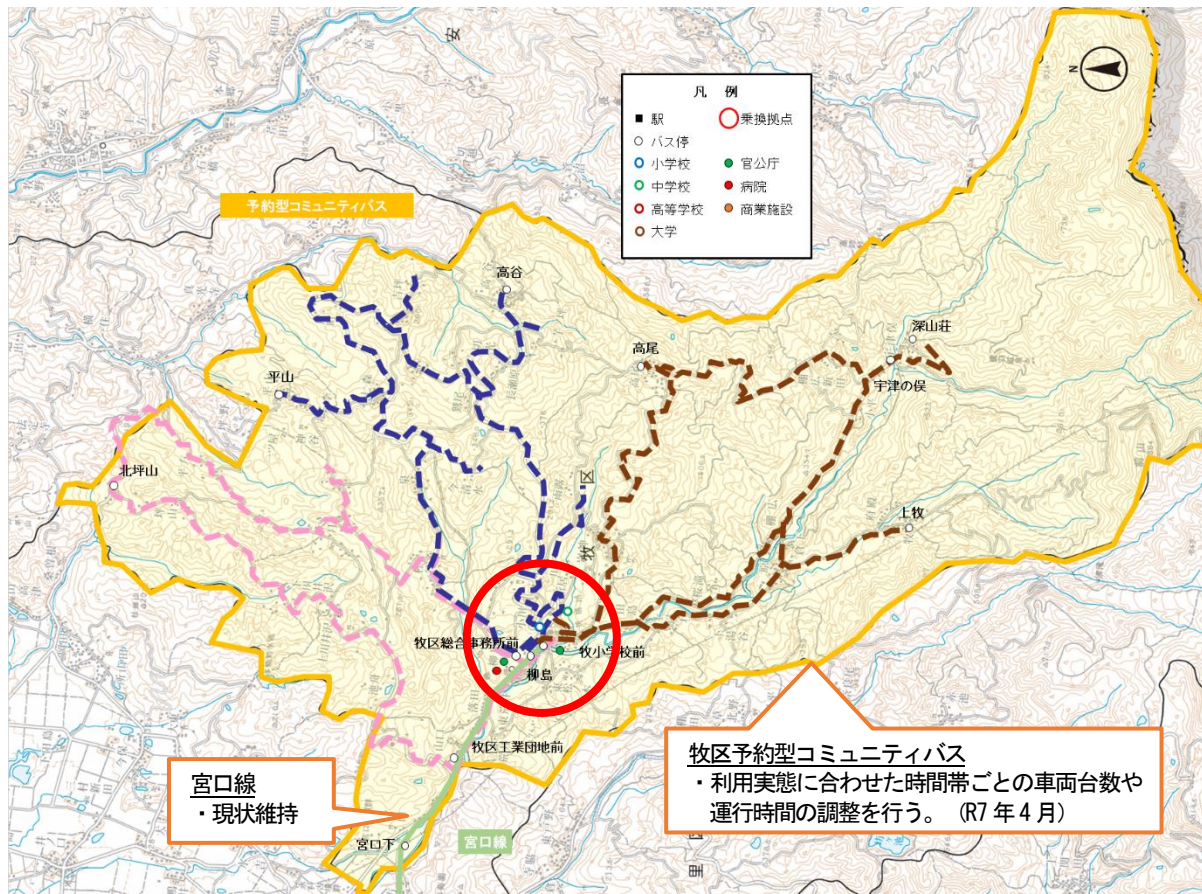


■再編前



■再編後

※【地図の出典】国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成



※【地図の出典】国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成



⑥柿崎区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	8,638人	
15歳未満	786人	9.1%
65歳以上	3,595人	41.6%
75歳以上	1,954人	22.6%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	柿崎小学校区、下黒川小学校区、柿崎中学校区	平日
2	通園バス	NPO法人柿崎まちづくり振興会	柿崎区内	平日
3	サロン送迎	NPO法人柿崎まちづくり振興会	柿崎区内	週3回(月、水、金)
4	出前サロン送迎	NPO法人柿崎まちづくり振興会	第四区、第五区、第七区、七ヶ地区、黒川・黒岩地区	月1回
5	認知症カフェ	NPO法人柿崎まちづくり振興会	柿崎区内	月1回
6	交通空白地有償運送(はまなすバス)	NPO法人柿崎まちづくり振興会	柿崎区内(浜線沿線を除く)	平日

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	浜線	支線	12,734	674	12,061	5.3%	0	9,271	3,539(6,813)	0.8(1.4)	0.2	I 路線廃止・互助への転換
2	山直海線	幹線 支線	31,093	5,739	25,354	18.5%	1,695	23,658	35,416(47,707)	幹線5.2(7.0) 支線1.8(2.5)	2.1 0.9	IV 現状維持 II 運行形態の転換等
3	(参考) 黒岩線	支線	6,688	399	6,289	6.0%	0	6,288	1,639(2,388)	0.5(0.8)	0.2 0.5	I 路線廃止・互助への転換
4	(参考) 水野線	支線	3,565	48	3,517	1.3%	0	3,517	335(616)	0.2(0.4)	0.0	I 路線廃止・互助への転換
合計			54,080	6,860	47,221	12.7%	1,695	42,734	40,929(57,524)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数  
 ※山直海線と黒岩線の平均乗車密度は各系統の数値(各路線は経由地や起終点により2系統ずつに分かれている)

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	浜線	10	10	5	4	10	10	0	5	・通勤、通院、買物など ・柿崎区内の利用が主
2	山直海線	18	6	11	1	76	12	64	2	・吉川小・中、吉川高等特別支援学校の通学利用が主
3	(参考) 黒岩線	10	0	7	-	6	6	0	-	・区内への通院が主 ・1人通勤利用あり(区内)
4	(参考) 水野線	月水金 4 火木 8	0	3	-	5	5	0	-	・1人通勤利用あり(直江津方面へ電車乗継)

※浜線は令和5年4月調査から、ほかは令和5年1月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計

■再編の方向性

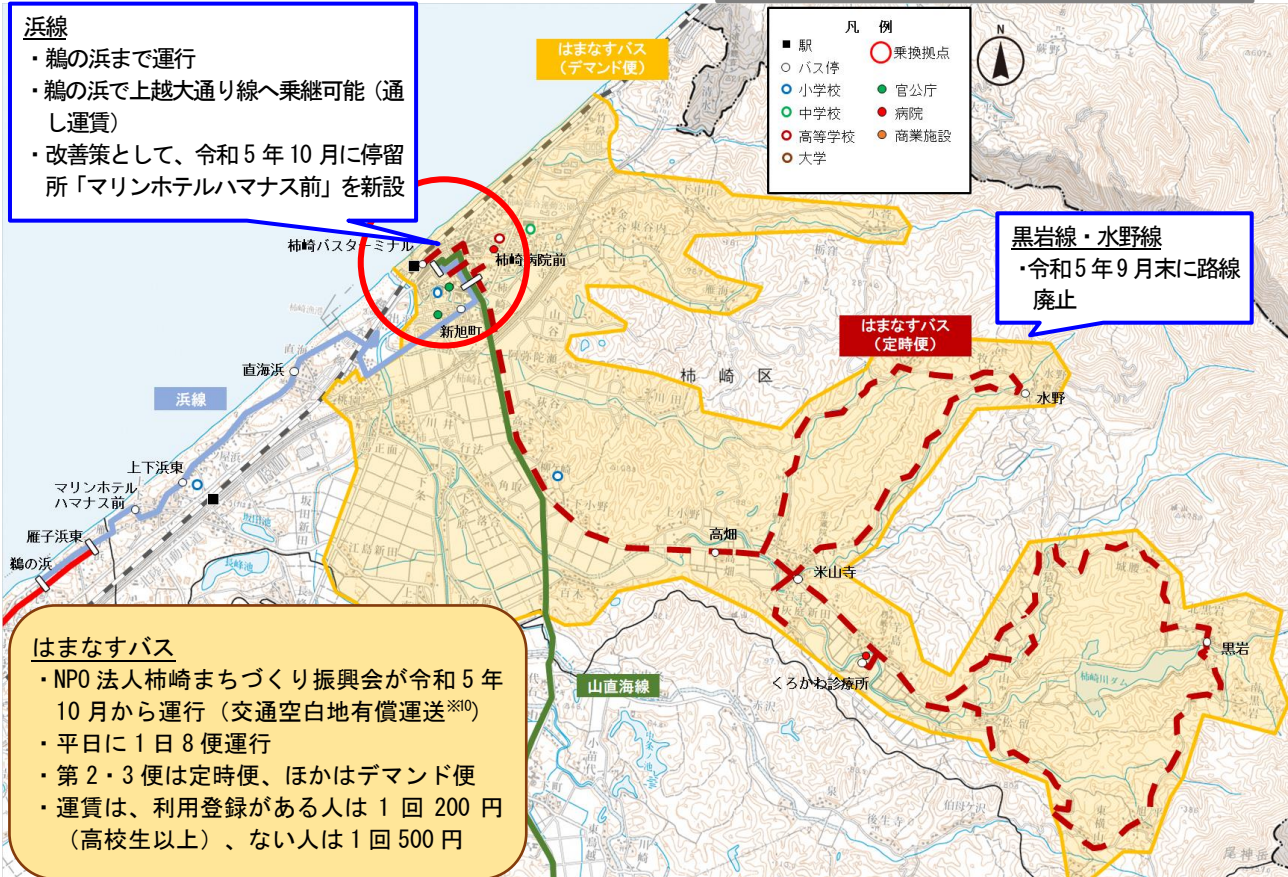
No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	浜線	支線	R7年4月	・令和5年10月から令和6年9月までの1便当たりの利用者数が1.0人を上回らない場合は、令和7年4月を目途に路線を廃止し、互助による輸送への転換を検討。継続的に1.0人以上5.0人未満となった場合は、運行形態の転換等を検討
2	山直海線	幹線 支線	R9年度	・幹線と支線に分割し、運行区間を柿崎バスターミナルー吉川区総合事務所前に短縮(支線は吉川区区内他路線とあわせて再編を検討)

※幹線と支線の乗換拠点は柿崎バスターミナル



■再編前

※久比岐高校は R6 年度募集停止。  
(R8 年 3 月に最後の学年が卒業)



※【地図の出典】国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成



⑦大潟区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	9,085人	
15歳未満	937人	10.3%
65歳以上	3,216人	35.4%
75歳以上	1,724人	19.0%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	南大潟地区(大潟町小学校区)	通年
2	サロン送迎	まちづくり大潟	大潟区内	月5回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)								評価結果	
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助(千円)	年間利用者数(人)	1便当たり利用者数(人)		平均乗車密度
1	上越大通り線(本町経由)	幹線	89,918	24,818	65,101	27.6%	17,362	47,738	176,932 (220,253)	17.3 (21.6)	1.6	IV現状維持
2	浜線	支線	12,734	674	12,061	5.3%	0	9,271	3,539 (6,813)	0.8 (1.4)	0.2	I路線廃止・互助への転換
3	犀潟駅線	支線	7,547	1,817	5,730	24.1%	1,159	4,571	25,340 (47,543)	7.5 (14.0)	1.0	IV現状維持
合計			110,199	27,309	82,892	24.8%	18,521	61,580	205,811 (274,609)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数

■利用の実態（乗降調査）

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	上越大通り線(本町経由)	30	24	30	23	297	-	-	95	・通勤・通学、通院、買物など多目的 ・大潟町小で通学利用
2	浜線	10	10	5	4	10	10	0	5	・通勤、通院、買物など ・柿崎区内の利用が主
3	犀潟駅線	14	0	9	0	56	1	55	0	・頸城区内における小中学生の通学利用が主

※上越大通り線・犀潟駅線は令和5年1月調査から、浜線は令和5年4月調査から ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計  
※上越大通り線の1日当たりの利用者数は、便ごとの最大利用者数の合計

■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	上越大通り線(本町経由)	幹線	-	・現状維持
2	浜線	支線	R7年4月	・令和5年10月から令和6年9月までの1便当たりの利用者数が1.0人を上回らない場合は、令和7年4月を目途に路線を廃止
3	犀潟駅線	支線	-	・現状維持 ※頸城区内を運行する他路線とあわせて、再編の効果・課題について調査・研究を行う。

※幹線と支線の乗換拠点は鶴の浜



■再編前



※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成



⑧頸城区

■人口（令和5年3月末現在）

総人口	9,198人	
15歳未満	999人	10.9%
65歳以上	2,677人	29.1%
75歳以上	1,314人	14.3%

■地域の送迎サービス（令和5年10月時点）

No.	名称	運行主体	区 間	運行日
1	スクールバス	市	南川小学校区、大澁小学校区	平日
2	スクールバス(一般混乗)	市	明治小学校区、大澁小学校区、頸城中学校区(大池線)	平日
3	通院送迎	高野循環器内科クリニック	頸城区周辺～病院	火曜日・木曜日
4	通院送迎	山田クリニック	頸城区周辺～病院	平日、土曜日の午前中
5	サロン送迎	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回
6	出前サロン送迎	くびき振興会	玄増・大蒲生田・坂田・西福島二区・下吉地区周辺	月1回～年2回
7	介護予防教室送迎	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算)							1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度	評価結果
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・負担(千円)	年間利用者数(人)			
1	南川線	幹線	22,415	8,731	13,684	39.0%	2,547	8,836	57,115 (59,073)	9.6 (9.6)	1.4- 2.2	IV現状維持
2	黒井駅線	支線	8,903	2,493	6,410	28.0%	0	6,409	32,366 (35,928)	19.1 (21.2)	1.3	IV現状維持
3	犀潟駅線	支線	7,547	1,817	5,730	24.1%	1,159	4,571	25,340 (47,543)	7.5 (14.0)	1.0	IV現状維持
4	柳町線	支線	4,247	1,306	2,941	30.8%	672	2,268	22,345 (23,546)	15.4 (16.2)	1.8	IV現状維持
5	くびき駅線	支線	8,568	740	7,828	8.6%	0	7,828	9,108 (16,266)	5.3 (9.6)	0.5	IV現状維持
6	大池線(市営バス)	支線	35,497	9	35,488	0.0%	0	35,488	10,111 (10,409)	6.9 (7.2)	-	IV現状維持
合計			87,177	15,096	72,081	17.3%	4,378	65,400	156,385 (192,765)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数  
 ※南川線の平均乗車密度は各系統の数値(経由地や起終点により複数系統に分かれている)  
 ※大池線(市営バス)の経常費用～市補助・負担は、頸城区スクールバス全体の実績

■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	南川線	21	10	18	8	220	-	-	21	小中学生・高校生の通学利用、高齢者の買物・通院利用など
2	黒井駅線	7	0	4	0	78	2	76	0	小中学生の通学利用が主
3	犀潟駅線	14	0	9	0	56	1	55	0	
4	柳町線	6	0	4	0	48	0	48	0	
5	くびき駅線	7	0	4	0	31	1	30	0	
6	大池線(市営バス)	6	0	5	0	69	0	69	0	

※令和5年1月調査から ※南川線の1日当たりの利用者数は、便ごとの最大利用者数の合計  
 ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計。ただし、南川線については、停留所ごとに乗降人数を集計していないため人数を掲載していない。

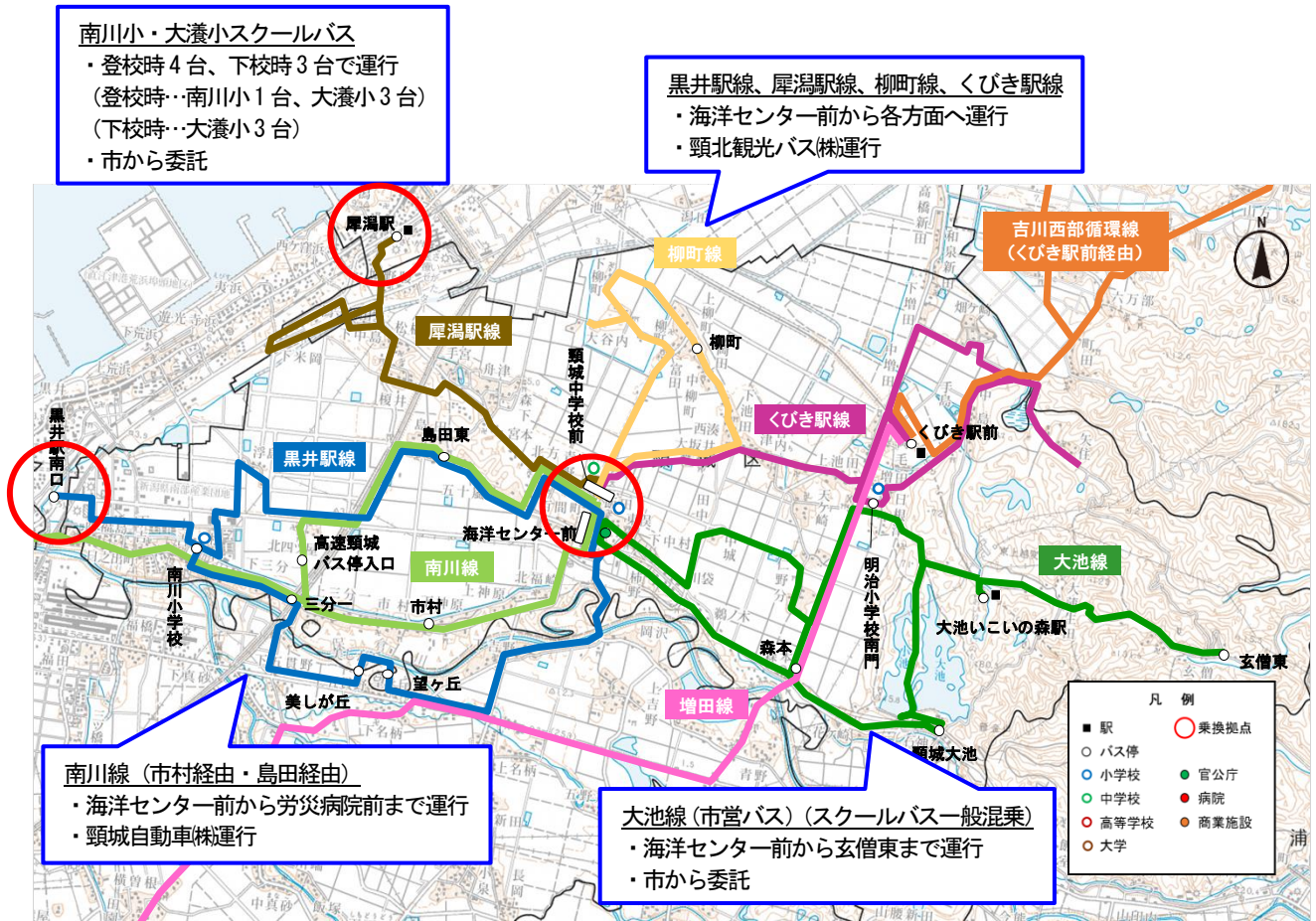
■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	南川線	幹線	-	・現状維持
2	黒井駅線	支線	-	・現状維持 ※必要に応じて、バス停の見直し等を行う。 ※スクールバスと予約型コミュニティバスへの再編の効果・課題について、調査・研究を行う。 (小中学生の通学利用が多く、利便性と効率性の観点から、現時点での見直しは困難なため、令和10年度以降の再編を検討する。)
3	犀潟駅線	支線		
4	柳町線	支線		
5	くびき駅線	支線		
6	大池線(市営バス)	支線		

※幹線と支線の乗換拠点は海洋センター前

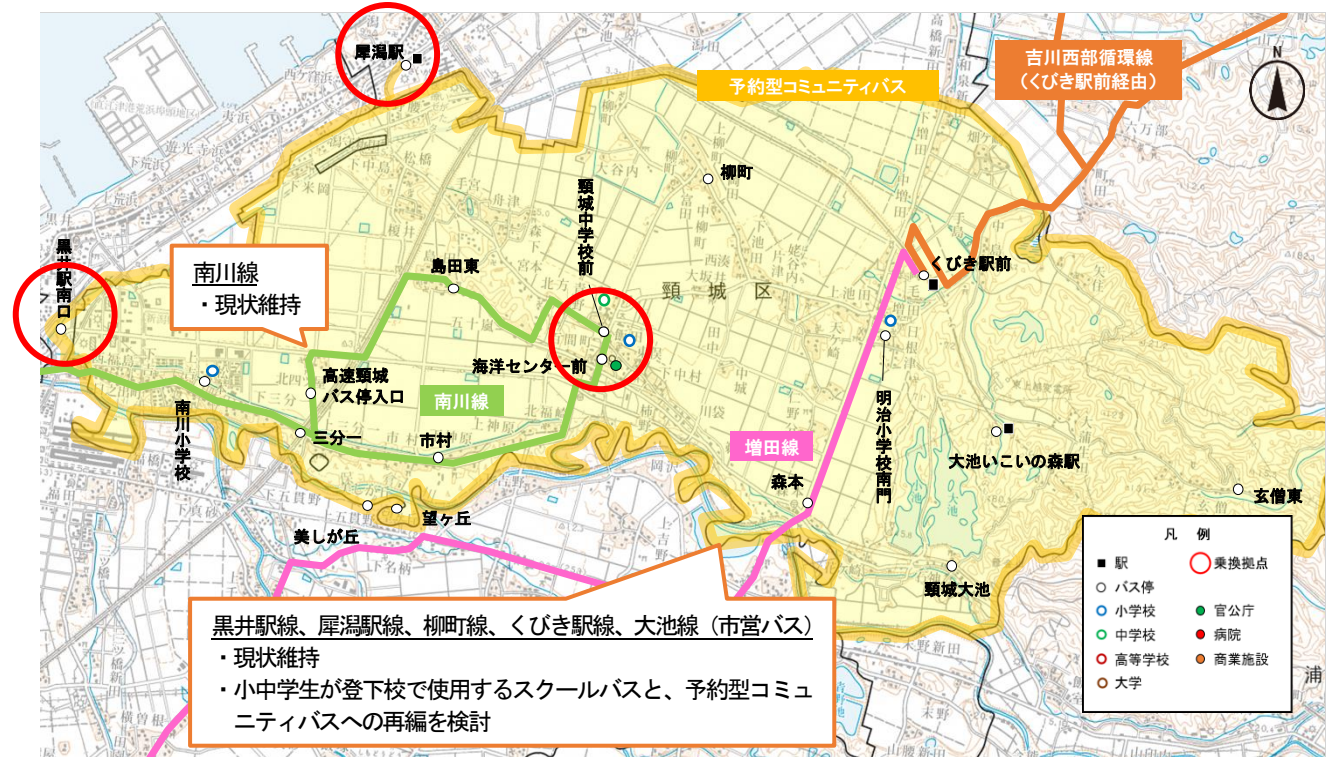


■再編前



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成

■再編後



※【地図の出典】 国土地理院発行 5 万分の 1 地形図を加工して作成